

ゆめ木風3 放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和4年3月15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	1	活動内容によっては狭いと感じることもあるかもしれないが、仕切りを活用しながら環境設定を行っている。仕切りやパーティションで部屋を区切ったりしながら提供の仕方を工夫していきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1		基本数2+加配を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	5	外階段の手すりの設置を具体的に検討していきたい。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	4	1	目標設定と振り返りを職員で共通理解し、申し送りや会議・記録などを活用しながら職員全体が自発的に参画できるようにしていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2		保護者からの評価を踏まえ、原因と対策を考えて業務改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			毎年度ホームページにて公開しており、今後も定期的に更新していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	6		第三者による外部評価も行うことで、結果内容について話し合い業務改善につなげていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		年間計画を立て、定期的に勉強会を行うなどして職員の資質の向上に努めている。今後は外部の研修会などもコロナ禍ではあるがリモートなどでも積極的に参加していきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者からの聞き取りを行い、職員全体で話し合いながらいろんな目線から分析し、計画を作成していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	6	1	個人記録などを用いて個人の特性などの理解に努めているが、今後標準化されたアセスメントツールを構築し、職員の共通理解に努めたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	4		大まかな立案はしているが、職員全体で多方面から意見を出し合い参画できるようにし、チームでの連携頻度を高めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		マンネリ化しないように心がけている。支援の内容や進み具合を考えながら課題を提供したり、コロナ禍で限られてくるものもある中でいろんな目線を持ってもっと工夫していきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	1	平日・休日・長期休暇を踏まえて個人・集団での課題を適宜組み合わせながら細やかに設定していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		個別活動は個人の課題やニーズを考えながらできているが、集団活動のプログラムをもっと充実できるようにしていきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4		朝礼時に申し送りや打ち合わせ等行っているが、役割分担など内容をもっと充実させていき、しっかりと確認していきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		終礼で報告や情報を共有するようにしているが、状況によっては出来ない時もあるのでノート等を活用している。できていないところは発信し合い、気づいた点など共有できるようにする。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3		支援経過表にて日々の支援に関して記録を取っている。記録の仕方を統一させることで、支援の検証・改善につなげていきたい。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		少なくとも6か月に1度は定期的モニタリングを行い、見直しを実施しているが、期間だけでなく状況に応じたモニタリングの必要性も判断していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	5		ガイドラインの把握とそれに沿った支援を理解する。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		ふさわしい者が参画している。今後は職員の質も高め、子ども状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようにする。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		送迎時やトラブルがあった際には早急に対応できるように連絡調整に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6		実績なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7		児童発達から放課後等デイサービスに移行する際に行っている。状況やニーズに応じて情報共有と相互理解を図れるような働きかけも必要。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		関係機関との話し合いの場には参加したり、情報提供を行うなど必要に応じて対応している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	6		専門機関と連携し、助言を受けたり研修の機会が持てれば積極的に受けたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	5	コロナ禍ということもあり、なかなかそのような機会がない。環境が落ち着けば交流の機会があるときには参加したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	3	コロナ禍ということもあり、リモートでの研修等開催時には積極的に参加したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時などに日頃から子どもの状況を伝えあい、理解を深められるようにしている。職員間でも共有できるようにして共通理解に努める。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1	外部研修に参加するなど職員の家族支援に対する知識や技術を習得する必要がある。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		契約時や質問があった際には丁寧に説明するように心がけている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		内容によっては適した職員が助言等行っている。保護者からの相談に適切に応えらるよう保護者との関係づくりにも努める。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2		保護者会の開催をしているが、要望なども踏まえて内容等を充実させていき、保護者同士の連携を支援していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			状況に応じて職員が情報を共有し、その場に適した職員や児発管が迅速に対応するよう心がけている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月活動報告や行事予定などを載せた会報を発行し、連絡等があればその都度お知らせとして発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報の取り扱いに関しては契約時に文書にて確認させてもらったり、書類なども定められた場所に保管したり、個人名を出す際には十分注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			特性を理解することに努め、状況に応じた伝達方法に配慮したりしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4	今後地域に開かれた事業所となれるように努めたい。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3	1	各マニュアルは策定し、職員への周知はできているが保護者への周知を改善していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		年間予定を立て、定期的を実施している。今後はあらゆる災害を想定して内容も充実させていく必要がある。

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	5		コロナ禍でなかなか外部研修に参加できなかった分、事業所内での研修で充実させるようにする。また、毎年決まった時期にセルフチェックを行うようにしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	6	1	実績なし。 やむを得ず行う場合は承諾書を準備している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	1	保護者からの情報によるものなので、状況によっては改善が必要。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		事例集を作成し、共有できるように回覧しているが職員全体で共有できる工夫が必要。